

# 市議会だより

市議会ホームページのご案内

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>

市議会だよりや本会議の  
会議録、インターネット中継  
などがご覧いただけます。



## 令和5年度 暫定予算案を可決!

3月定例会が令和5年3月9日から3月23日まで15日間の会期で開かれました。

市長から74件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案について原案のとおり決定しました。また、議員から提出された議案は16件で、うち10件を可決しました。

さらに、総務財政委員会から、市長の給与の特例に関する条例案及び副市長の給与の特例に関する条例案に対する付帯決議案が提出され、可決しました。

1面	本会議での会派質疑・一般質問と答弁、請願・陳情の審議結果
2面	本会議での一般質問と答弁
3面	本会議での一般質問・一般質疑と答弁、新しい委員会の構成 など
4面	議案に対する各会派の賛否一覧、常任委員会の所管事務調査についての報告、議会改革協議会の協議結果についての報告、お知らせ など

### 本会議での質疑・質問と答弁

この市議会だよりでは、本会議での質疑・質問と答弁の要約したものを掲載しています。

詳細な会議録は、6月上旬頃から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。

また、市議会のホームページには、5月上旬頃に会議録(速報版)を掲載します。

なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、6月下旬頃からとなります。

### 3月13日 会派質疑



60分



本会議では次の、延べ36人が質疑・質問を行いました。掲載記事の順番は発言順です。なお、掲載している時間(分)は、議員の発言時間(執行部の答弁を含む)です。  
※自民党・無所属の会の中村義雄議員は3月13日に一般質問も行いました。  
※日本維新の会の篠原研治議員、井上しんごの井上しんご議員、村上さとこの村上さとこの議員は3月16日に一般質疑も行いました。

### 議員

暫定予算にある「官民連携による行財政改革推進事業」で立ち上げる官民合同チームのメンバーと、同事業で行う行財政の総点検の具体的な内容について、見解を尋ねる。

### 市長

同チームの市職員は企業などの人材が望ましいと考え、6名の準備チームを稼働させた。民

### 議員



60分

間人は財務等の経験や改革意欲のある方を考えている。行財政の総点検の対象は市のあらゆる分野の取組だが、ターゲット等については同チームで議論していきたい。

### 市長

戦後、我が国は歴史の平和と繁栄に尽力してきたと認識しており、私自身の政治姿勢も憲法、国際法の範囲で防衛力強化を進める政府の立場と軌を一にしている。本市では非核平和都市宣言を行っており、平和に対する基本的な姿勢を引き継いでいきたい。

### 3月13日 一般質問



### 議員



30分

市長は市長選挙の際、同無償化について「財源が整えば」と回答している。物

価高騰の下で子どもと保護者の生活等に大きな影響があるため、本市でも同無償化に踏み出すべき。

### 市長

私の基本政策の柱は、教育環境を充実し子どもを育てることを大切にする。同無償化を含めた教育条件は、実現性と有効性のバランスに配慮しながら議論すべき課題であり、本市での同無償化には多額の財源を要するため、直ちに実施することは困難と考えている。

### 議員



30分

要望の多い「ふれあいむら」の21戸の空き家は早急に募集に出し、市営住宅の有効活用を図るべき。また、市営住宅の収支は黒字であるため、草刈りも市の責任で行うべき。

### 建築都

市営住宅は毎年、空き戸が増え、限られた予算を効果的に執行するため市民のニーズに応じた団地を中心に選定し、募集している。また、法令で入居者は敷地内の緑地等を正常な状態に維持することとされているが、危険箇所草刈り等は市の負担で行っている。

### 議員



30分

市長公約の保育料第二子以降完全無償化はどのような手順で実施するのか。また、公約の3歳未満児の保育無償化には約23億円の財源が必要だが、

いつ頃までに実施するのか。

一部メディアに公約として掲載された3歳未満の保育無償化について、アンケート調査の回答が不正確な表現となつたことお詫びする。本来の公約は保育料第二子以降完全無償化であり、実施に必要な財源の確保に向け、官民合同チームでの検討を踏まえ行財政改革に取組みたい。

### 市長

第一ステップでは、魅力ある雇用の場の創出と教育・子育て環境の充実による社会動態の改善に取組み、次に若い世代等の定着や出生数増加による人口増加にチャレンジしていきたい。復活の時期を現時点で示すのは困難だが、まずは第一ステップに全力で取組み、人口増加に向けた道筋をつくっていきたい。

### 議員



30分

市長は公約で「人口100万都市の復活」を掲げているが、復活させる時期の目標をいつとし、人口増に向け具体的などのように取組むのか。

### 市長

人口100万都市の復活に向けて、100万人達成の時期と市長の任期について

### 3月14日 一般質問



60分



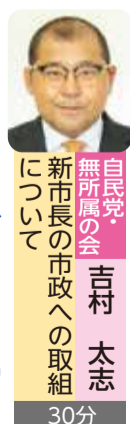
市長が掲げる本市の人口100万人復活に向けた公約を成し遂げるまでにかかる期間と、今後挑戦したいと考える任期について見解を尋ねる。

### 市長

100万都市の復活への挑戦という大きな目標に向かって、魅力的な雇用の創出や教育・子育て環境の充実等にスピード感を持って取組むことで、

まずは若い世代の流出を食い止めたい。市長就任後間もない状態のため、まずはこの1期4年間で、初心を忘れることなく一杯努力していきたいと考えている。

### 議員



30分

市長が発言した「失われた16年」や議会とは「フーサイド」の意図について、また、前市長が行った素晴らしい取組を継続していく意志はあるのか、取組の姿勢について尋ねる。

### 市長

「フーサイド」は、それぞれの違いを乗り越えて新しい時代を切り開いていくこととの趣旨で、「失われた16年」は、まちが元気を失ってきたという危機感を市民にも共有してもらいたいとの思いなどから発言した。今後、これまでの実績を引き継いだ上で市政を進めていく。



### 請願・陳情の審議結果

市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

請願9件、陳情116件が継続審査となりました。



日本共産党 藤沢 加代  
自衛隊築城基地の  
「米軍基地化」について  
60分

議員 普大間基地の緊急時の機能移転を受け入れる築城基地の整備状況について市長の認識を伺う。また、同基地情報等を積極的に収集して市民周知、事故や治安対策等をとるべき。

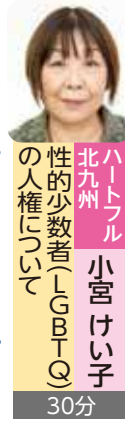
総務局長 同基地の整備をはじめ、国の安全保障に関する判断は国の責任で適切に行われるべきと考える。本市は、同基地の訓練等の情報提供の対象となっておらず、国への申し入れ等は考えていないが、今後も市民の安全・安心を守る立場から必要に応じて情報収集・対応を図っていく。



ハートフル北九州 テキスト生成AIの活用について  
奥村 直樹  
30分

議員 チャットGPT等のテキスト生成AIは試験や宿題等の問題作成と相性が良いと言われているが、これを業務負担の多い、本市小中学校の教員の負担削減に活用できないか。

教育長 同AIは、試験問題等の素案作成段階でのアイデア収集に活用することで、仕事の効率化による教員の負担軽減が期待できるが、活用の際は作成される問題が適切なものかを教員の専門性を生かして吟味する必要がある。今後も、有効で適切な活用方法等を研究していきたい。



ハートフル北九州 性的少数者(LGBTQ)の人権について  
小宮 けい子  
30分

議員 パートナースhip宣言制度は、性的少数者の方々が日常的に感じている「生きづらさ」の解消につながる制度であり、本市における同制度の充実

市長 今後も性的少数者の方々に対する理解や同制度への社会的な認知を高めていかなければならないと考えており、広報や研修会等を通じて、同制度と共に民間企業等に広がる具体的な取組事例等を紹介するなど、民間企業等の取組を後押しして、同制度の充実に努めていきたい。



「市民の声を聴く」市長政策への提案について  
村上たか子  
30分

議員 他の自治体で成果が出ている、基本計画等策定時に無作為抽出の市民により行う市民討議会や、予算編成に市民が直接関与し、使い道を決定する市民参加型予算等を導入すべき。

市長等 基本計画等策定の進め方の検討時に、様々な関係者の参加の下、未来志向の対話で検討過程をオープンにするということを大切に考えていく。予算は、パブリックコメントで得た市民の意見を参考に編成している。今後他都市の事例も参考に市民参画の形を模索していきたい。



若松を愛する会 若松の観光政策について  
本田 一郎  
30分

議員 若松北海岸、グリーンパーク、高塔山から見るライトアップされた若戸大橋、本市への外資系ホテルの誘致等、若松の観光政策、特に同海岸に対する市長の思いを伺う。

市長 若松区は貴重な観光資源がそろっており、策定中の観光振興プランの中に同海岸における体験型・滞在型観光の促進を盛り込む方向で進めている。同海岸のポテンシャルは市長としても大変高く評価しており、活気

ある観光地とするため民間や地元と力を合わせて取組んでいく。



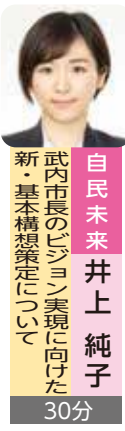
3月15日 一般質問



自民未来 三原 朝利  
市長が目指す本市の未来像について  
30分

議員 市民との対話を重視してきた市長に、市職員と共に各地域に出向き市民との対話・地域課題の共有・解決を目指す「仮称」移動市長室の実施を提案したいが、見解を伺う。

市長 市民との直接対話は、市議会との対話と共に非常に大事なもので、自身の政治活動の命の部分でもある。多くの方から、もっとやって欲しいなどの声もある。移動市長室は「我が意を得たり」という提案であり、しっかりやっていきたいと思つたため、具体的な検討を進めていく。



自民未来 井上 純子  
武内市長のビジョン実現に向けた新・基本構想策定について  
30分

議員 「福北連携等」は明るいニュースだが、その必要性等には一部に不安の声がある。自治基本条例に定める基本構想の策定により、市長は政策の軸やゴールを具体的に示すべき。

市長 本市の基本構想「三元気発進！北九州」プランは策定から約15年経った。激しい環境変化や複雑化する社会課題に対応し、92万人の市民がまちづくりのベクトルを共有できるビジョンの策定に早急に着手したい。市民と共に子どもや孫たちに誇れる本市の未来をつくっていきたい。



井上しんじ 井上しんじ  
河内エリアの観光振興方針について  
30分

議員 同エリアは東洋一と呼べた噴水等で本市の観光に貢献してきたが、市街化調整区域等の規制で民間投資が制限されている。河内貯水池等の自然と共存した同方針の見解を伺う。

市長 策定中の観光振興プランでは、同エリアを、自然を活かした体験型・滞在型観光を促進し本市の新しい魅力の発掘・創出に取組むべきエリアと位置づけ、民間事業者が挑戦・投資・参入しやすい環境づくりに取り組むことも盛り込んでおり、より一層、魅力の向上に努めていく。



公明党 山本眞智子  
子育て支援について  
30分

議員 こども家庭庁の設置に伴い、本市の子ども家庭局の人員や財源の確保を含めた今後の体制づくり及び市長の追加公約として発表された大胆な子育て支援について、見解を伺う。

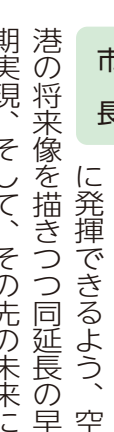
子ども家庭局長 同庁創設に伴う新たな政策課題に対応できる必要な体制も検討していく。追加公約の、保育料の第2子以降完全無償化は速やかな実施に向け検討を進め、病児保育施設の更なる新設は、まずは無償化による利用者の状況の確認が必要だと考えている。



公明党 金子 秀一  
北九州空港の滑走路延長について  
30分

議員 国は来年度からの同空港の滑走路延長の事業化に向け、新規事業採択時評価の手続きへの着手を発表した。3千メートル滑走路の供用開始に向け

た今後の取組について尋ねる。



日本維新の会 松尾 和也  
聖域なき行財政改革について  
30分

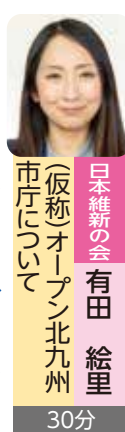
市長 同延長の効果を最大限に発揮できるよう、空港の将来像を描きつつ同延長の早期実現、そして、その先の未来に向け着実に歩みを進めていきたい。今後、市議会の支援をいただきながら、国への働きかけ等により更なる路線誘致や集貨・創貨等に全力を尽くしていきたい。



日本共産党 伊藤 淳一  
新型コロナウイルスの類化に伴う医療費の自己負担増について  
30分

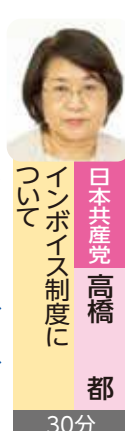
議員 市長は行財政改革への熱意があり、ぜひ進めてもらいたいと期待するが、市長が基本政策で表明した「財源を捻出し、次世代へ投資する」という点の具体案について尋ねる。

市長 100万都市復活への挑戦等の目標に向け、官民合同チームによる行財政の総点検に取組み、財源を捻出することで、若者を取り戻すための魅力ある雇用の場の創出と、子どもがイキイキと育つための教育・子育て環境の充実を二本柱とする次世代への投資に取組んでいきたい。



日本維新の会 有田 絵里  
(仮称)オープン北九州市庁について  
30分

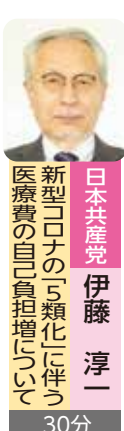
議員 大阪府庁が推進する、施策プロセッサや予算編成過程、公金支出情報等、行政の「見える化」を本市でも進め、市民に市政への関心を高めてもらうべきと考えるが、見解を伺う。



日本共産党 高橋 都  
インボイス制度について  
30分

議員 全国で反対が広がる同制度について、本市の関連事業での契約で免税事業者の排除はないのか、同事業者との取引による消費税負担増加は市の会計が負担するのか、尋ねる。

財政局長 国の通知に基づき、同事業者であることをもって取引から排除することは適当ではないと考えている。特別会計及び企業会計のうち課税取引を行う会計については、同事業者との取引による影響が生じる可能性もあり、各会計でどのような対応ができるか引き続き検討していく。

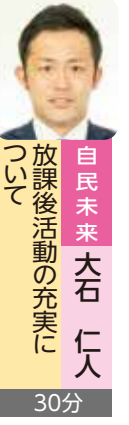


日本共産党 伊藤 淳一  
新型コロナウイルスの類化に伴う医療費の自己負担増について  
30分

議員 同負担増は、実質賃金低下や年金削減、物価高騰など市民の負担が続く中、受診抑制や感染拡大の要因にもなる。公費負担継続を国に申し入れ、本市独自の支援策を設けるべき。

保健福祉局長 5類への移行により入

院勧告等の措置がなく、なる中、国は他の疾病との公平性の観点等にも配慮し公費の支援を見直したと理解している。本市は現段階で独自の支援策を設ける考えはないが、今後、見直し後の状況等も踏まえ必要に応じて国や県との意見交換等を行っていききたい。



自民未来 大石 仁人  
放課後活動の充実につなぐ

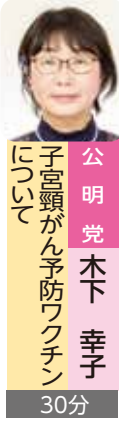
議員

市長が基本政策に掲げた「放課後活動の充実など学校施設を活用した遊び・学びの活動支援」に関して、市長が考える目指すべき放課後のかたちについての見解を伺う。

市長

放課後は子どもが自分で遊び、特性に合った学びを得られる大切な時間であり、学校施設活用により無限の可能性が広がる。放課後アソビバモデル事業の成果等を分析して今後の方向性を検討し、関係者によるプロジェクトチームも立ち上げたい。

3月16日 一般質問



公明党 木下 幸子  
子宮頸がん予防ワクチンについて

議員

子宮頸がんはがんの中で唯一、ワクチン接種で予防できる可能性が高いとされている。同ワクチンでの予防により女性の健康と命を守るべき。

保健福祉局長

本市は、同ワクチン接種に関する国の方針を受け、対象者への予診票等の送付や接種の判断に必要な情報提供を行っている。相談対応等の体制整備も進めている。より多くのウイルスに対応する9価HPVワクチンの定期接種に係る周知も行っており、引き続き相談体制の充実や情報提供等に努めていく。



公明党 本田 忠弘  
下水汚泥の活用について

議員

同汚泥には肥料の原料となる成分が豊富に含まれている。肥料の国産化と安定供給は、食料安全保障の観点から重要であるため、本市も同汚泥の肥料化に取り組むべき。

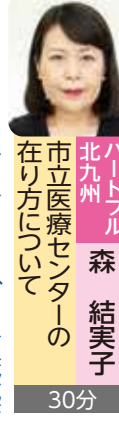
本市は市内に事業拠点のある企業と共同で、同汚泥の効率的な肥料化を図る全国初の実証研究を進め、製造する肥料を使用した農作物の試験栽培を行い、安全性を検証することとしている。同研究の成果や課題の活用化にチャレンジしたい。

上下水道局長

新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられると公立病院の重要性が増すと考えられるため、平成3年に本館ができた同センターについて、建て替え等の在り方の検討を始めるべき。

市長

本市医療機関の中心的役割を担う同センターは、築後32年目を迎えて建て替え等の在り方の検討が必要だが、新たに大規模な投資を行うには、まずは経営改善等に取り組むことが重要である。その上で市立病院機構とも協議し、地域の医療関係者や議会等と議論を進めていきたい。



ハートフル北九州 森 結美子  
市立医療センターの在り方について

議員

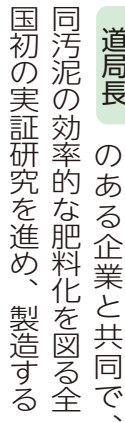
暫定予算案に800万円が計上されている行政改革のための「官民合同チーム」について、民間の人材は今から公募することだが、公募の手続きについて見解を尋ねる。

市長

行政の事業として行うため、どういった人材がいるのか公募を行い、手を挙げていただいた方で適任の方がいるか、公平なプロセスを経て見つけたい。そして、官と民が同チームの中で学び合うこととお互いのことを知っていくことも市政にとって良い結果になっていくと考える。

議員

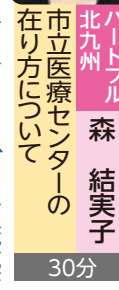
日本維新の会 篠原 研治  
中小企業等の事業継承・後継問題について



日本維新の会 篠原 研治  
中小企業等の事業継承・後継問題について

議員

後継者不在企業と起業希望者とのマッチングは、県の事業継承・引継ぎ支援センターと連携し「後継者人材バンク」できめ細かに対応している。他都市での独自のマッチング支援には成約数が低調等の課題がある。と聞いており、本市独自の政策について調査や検討を進めていく。



自民党・無所属の会 村上 幸一  
旧クロサキメイトビル跡の再生について

議員

市長は「わくわく・期待感」あふれるまちづくりとして黒崎の再開発の加速を公約しているが、同ビルの再生について見解を伺う。

市長

長年まちの顔であった同ビルの再生は黒崎のまちづくりの重要なテーマであるため、土地等の関係権利者の間で早期に市民の期待にこたえられるような意見集約がなされることを期待している。行政がどういったことができるかは、しっかりと考えていくべき課題だと捉えている。

議員

自民党・無所属の会 吉田 幸正  
地元企業支援育成のための指名基準変更について



自民党・無所属の会 吉田 幸正  
地元企業支援育成のための指名基準変更について

議員

本市では、市内に本社がある市内企業と市内に支店等がある市内企業を併せて地元企業と定義しているが、他都市同様、市内企業を地元企業とするよう指名基準を変更すべき。

技術監理局長

本市が北九州市に来て、この数年の間で戸畑区を訪れたことがあると思うが、戸畑区政の一番の課題は何と考えるか、見解を伺う。

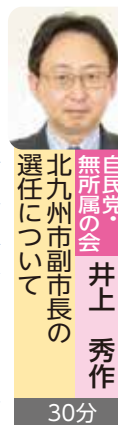
議員

同区は、九州工業大学等の教育機関や市立美術館等の文化施設、山笠や旧松本家住宅等の文化・歴史遺産のスポットを点ではなくどうやって面にし、文教のまちというブランド力を発揮、発信するかが課題と考えている。今後、市民との対話を重ね、文教のまちとしての魅力を高める発展に結びつけていきたい。

市長

同区は、九州工業大学等の教育機関や市立美術館等の文化施設、山笠や旧松本家住宅等の文化・歴史遺産のスポットを点ではなくどうやって面にし、文教のまちというブランド力を発揮、発信するかが課題と考えている。今後、市民との対話を重ね、文教のまちとしての魅力を高める発展に結びつけていきたい。

3月23日 一般質疑



自民党・無所属の会 井上 秀作  
北九州市副市長の選任について

議員

今定例会で2名の副市長を選任する議案が上

程されたが、市長自身がどう考えて決めたのか、選任理由をプレゼンテーションしてもらいたい。

市長

副市長人事に当たり、歴史へのリスペクトがある、イエスマンではない、人として尊敬できるといふ3つの観点で考え、大庭氏と片山氏が適しているかと判断した。稲原副市長を含めこれから本市を引っ張るチームとして4人でトップマネジメントを構築し、職員や議員とも一体となり本市を前に進めていきたい。

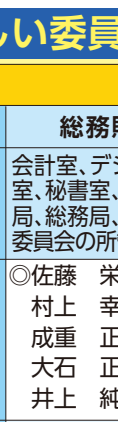
議員

同区は、九州工業大学等の教育機関や市立美術館等の文化施設、山笠や旧松本家住宅等の文化・歴史遺産のスポットを点ではなくどうやって面にし、文教のまちというブランド力を発揮、発信するかが課題と考えている。今後、市民との対話を重ね、文教のまちとしての魅力を高める発展に結びつけていきたい。

市長

同区は、九州工業大学等の教育機関や市立美術館等の文化施設、山笠や旧松本家住宅等の文化・歴史遺産のスポットを点ではなくどうやって面にし、文教のまちというブランド力を発揮、発信するかが課題と考えている。今後、市民との対話を重ね、文教のまちとしての魅力を高める発展に結びつけていきたい。

3月23日 一般質疑



自民党・無所属の会 井上 秀作  
北九州市副市長の選任について

議員

今定例会で2名の副市長を選任する議案が上

北九州市議会だより編集委員会の新しい委員構成

市議会の活動を市民の皆様にもっと分かりやすくお知らせするため、紙面の編集を行います。

【北九州市議会だより編集委員】

氏名	会派名
田中 元(委員長)	自民党・無所属の会
渡辺 修一(副委員長)	公明党
小宮けい子	ハートフル北九州
出口 成信	日本共産党

特別委員会の役職・所属の変更

令和3年8月15日号でお知らせした北九州空港機能強化・利用促進特別委員について変更がありましたのでお知らせします。

役職	委員名	会派名
委員長	日野 雄二	自民党・無所属の会
委員	吉村 太志	自民党・無所属の会
	田中 元	自民党・無所属の会
	渡辺 修一	公明党
	奥村 直樹	ハートフル北九州
	藤沢 加代	日本共産党

新しい委員会の構成 新しく決定した常任委員会、議会運営委員会の委員構成をお知らせします。(令和5年3月31日現在)

常任委員会		
名称	総務財政委員会	経済港湾委員会
所管	会計室、デジタル市役所推進室、秘書室、広報室、企画調整局、総務局、財政局、他の常任委員会の所管に属しない事項	産業経済局、港湾空港局、公営競技局、農業委員会
委員名	◎佐藤 栄作 ○三宅まゆみ 村上 幸一 戸町 武弘 成重 正文 岡本 義之 大石 正信 篠原 研治 井上 純子 村上さとこ	◎吉田 幸正 ○渡辺 修一 田中 元 香月 耕治 渡辺 徹 世良 俊明 奥村 直樹 高橋 都 本田 一郎
定数	10人	9人
名称	保健福祉委員会	環境水道委員会
所管	保健福祉局、子ども家庭局	危機管理室、環境局、消防局、上下水道局
委員名	◎村上 直樹 ○小宮けい子 日野 雄二 西田 一 金子 秀一 山本眞智子 白石 一裕 伊藤 淳一 荒川 徹 井上しんご	◎富士川厚子 ○河田圭一郎 吉村 太志 田中 常郎 井上 秀作 本田 忠弘 森本 由美 出口 成信 松尾 和也
定数	10人	9人
名称	建設建築委員会	
所管	技術監理局、建設局、建築都市局、交通局	
委員名	◎泉 日出夫 ○山内 涼成 中島 慎一 渡辺 均 鷹木研一郎 木畑 広宣 松岡裕一郎 浜口 恒博 三原 朝利	
定数	9人	

◎は委員長、○は副委員長、その他の委員は議席番号順に掲載

# 令和5年3月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧

詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001027905.pdf>



種別	件名	議決結果	自民・無	公明党	ハート	共産党	維新の会	自民未来	井上し	村上さ	若松
市長が提出した議案	暫定予算(全て令和5年度分)	特別会計暫定予算(国民健康保険等)/事業会計暫定予算(上水道等) 一般会計暫定予算/事業会計暫定予算(交通等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例	個人番号の利用に関する条例の一部改正/退職手当基金条例/手数料条例の一部改正 など	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		個人情報の保護に関する法律施行条例/社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		市長の給与の特例に関する条例/副市長の給与の特例に関する条例	○	○	○	×	○	○	×	○	○
	その他	救助工作車(Ⅱ型、Ⅲ型)の取得/30メートル級はしご付消防自動車の取得 など	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算(全て令和4年度分)	特別会計補正予算(国民健康保険(第2号))/事業会計補正予算(下水道(第2号)) など	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般会計補正予算(第6号)/特別会計補正予算(土地取得(第4号))	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
人事	人事委員会委員の選任/監査委員の選任/人権擁護委員候補者の推薦 など	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	副市長の選任	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
委員会が提出した議案	付帯決議	市長の給与の特例に関する条例案及び副市長の給与の特例に関する条例案に対する付帯決議	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員が提出した議案	条例	北九州市議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
	意見書	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書/新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取組の強化を求める意見書/性的指向・性自認に関する差別の解消を求める意見書/認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書/チルドレン・ファースト実現に資することも家庭内の発足を求める意見書/アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書/地域公共交通への財政支援の強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	
		会計年度任用職員制度の改善を求める意見書/地域のグリーントランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書	○	○	○	○	×	○	○	○	
		学校給食費の無償化を求める意見書	×	×	×	○	○	×	○	×	
		緊急に消費税率5パーセントへ減税を求める意見書	×	×	×	○	○	×	○	×	
憲法と「専守防衛」を覆す「安保3文書」の撤回を求める意見書/道理のない原発への大回帰方針の撤回を求める意見書/最低賃金の引上げを求める意見書	×	×	×	○	×	×	○	×			
納税者の権利を侵す「税務相談停止命令」の創設を盛り込んだ所得税法等の一部を改正する法律案の撤回を求める意見書	×	×	×	○	×	×	○	×			

【各会派の一般的な名称】 自民・無：自民党・無所属の会 公明党：公明党 ハート：ハートフル北九州 共産党：日本共産党 維新の会：日本維新の会  
 自民未来：自民未来 井上し：井上しんご 村上さ：村上さとこ 若松：若松を愛する会

## 常任委員会の所管事務調査について報告します！

常任委員会とは 市議会では、業務内容が非常に幅広く、複雑化している市政について、部門別に所管する6つの常任委員会を設置し、議案や請願等の審査、所管事務の調査等を行っています。

所管事務調査について 所管事務調査とは、常任委員会が所管する事務の中から、特に重要な事項を自主的に取り上げ、積極的に調査を行うことができる法律上の権限です。

各委員会の報告書は、市議会ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/g0100316.html>

**総務財政委員会** (調査項目)自治体DXについて  
 社会の様々な場面で、先進的なデジタル技術を活用した制度や政策、組織の在り方等を変革するDXの推進が期待されています。本委員会では、市民目線で市役所のDXを推進するため、全庁一体でスピード感を持って推進する取組について議論しました。  
 (他の調査項目)◎コロナ社会の地方創生について

**経済港湾委員会** (調査項目)北九州港湾機能(洋上風力発電事業含む)の強化について  
 本市では、広大な産業用地と充実した港湾施設を有する若松区響灘地区で、風力発電などのエネルギー関連産業の集積を進めています。本委員会では、風力発電関連産業の総合拠点化を推進するため、基地港湾の整備など港湾機能の強化について議論しました。  
 (他の調査項目)◎コロナ禍における中小企業・観光業の支援及び農業・漁業振興について ◎戦略的な企業誘致について

**教育文化委員会** (調査項目)教員が子どもと向き合える教育環境の整備について  
 教育環境の変化や新型コロナウイルス感染症対策等により、教員の負担が増大しています。本委員会では、少人数学級や二学期制の導入、教員確保の取組など、教員が余裕を持ってしっかりと子供と向き合えるような環境整備の取組について議論しました。  
 (他の調査項目)◎スポーツ・文化振興について ◎GIGAスクール構想・ICT教育下における教育環境の整備について

**保健福祉委員会** (調査項目)児童虐待の防止と子育て支援について  
 本市では、議員提案による北九州市子どもを虐待から守る条例に基づき、虐待の未然防止や早期発見・早期対応の取組を推進しています。本委員会では、コロナ禍による影響も懸念される中、相談体制の強化や、母子保健・子育て支援の充実等について議論しました。  
 (他の調査項目)◎いきいき長寿プランについて ◎新型コロナウイルス等の感染症対策について

**環境水道委員会** (調査項目)脱炭素社会の実現について  
 本市は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする、ゼロカーボンシティを表明しています。本委員会では、市民力や物づくりの技術などを生かし、環境と経済の好循環による本市の成長と、脱炭素社会の実現に向けた取組について議論しました。  
 (他の調査項目)◎災害対応力の強化について ◎ライフラインの強靱化について

**建設建築委員会** (調査項目)交通政策について  
 本市では、少子高齢化や人口減少などにより、今後、公共交通ネットワークの維持が困難となり、交通弱者が増加することが懸念されます。本委員会では、持続可能な公共交通の実現に向けて、MaaSやおでかけ交通事業の在り方などについて議論しました。  
 (他の調査項目)◎魅力的な公園づくりに関して ◎町なか居住の在り方について

## 議会改革協議会が協議結果を報告

令和3年3月に設置した議会改革協議会では、6つの協議事項について精力的に協議を行い、今年2月に協議結果を取りまとめ、報告を行いました。協議結果の概要は以下のとおりです。詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001023865.pdf>

**多様な手段による議会活動の報告等について**  
 SNS(FacebookやTwitter)やデジタルサイネージ、立て看板等を活用し、より積極的な市議会の情報発信や議会活動の市民周知を行うこととしました。

**市民参加の促進について**  
 議会傍聴や議事堂見学、市民団体等による議事堂を活用した模擬議会実施等の受入の積極的な推進のほか、主権者教育の更なる充実に向けた検討を進めることとしました。

**議事堂のバリアフリー化の推進、設備の充実等について**  
 将来的に、傍聴席にモニターを設置し本会議での発言を文字表示することで、聴覚障害のある方も安心して議会傍聴いただけるよう、設備の導入事例等の研究を続けることとしました。

**多様な人材が活躍できる議会の環境づくりについて**  
 議員対象の講演会など議員の能力向上を図る取組を充実させるとともに、議員に対するハラスメント研修を改選の年に継続的に実施し、倫理観や意識の向上を図ることとしました。

**議会におけるDXの推進について**  
 web会議システムを活用したオンラインミーティングを試行実施することとしました。また、委員会のオンライン開催について、重大な感染症のまん延や災害時でも議会活動を継続できるよう、議会運営委員会での協議を経て、関係条例等の改正が行われました。

**議会及び議員の政策立案及び政策提言機能の強化について**  
 常任委員会において、さらに活発な議員間討議を行うよう調査に努めるとともに、必要に応じてプロジェクトチームを設置するなど、積極的に政策立案や政策提言を行うことを確認しました。

【議会改革協議会委員(報告時点)】 自民党・無所属の会：田中 常郎(座長) 公明党：本田 忠弘、渡辺 修一 ハートフル北九州：白石 一裕、森本 由美 日本共産党：山内 涼成、出口 成信

### お知らせ

視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。  
**【問い合わせ】**市議会事務局政策調査課 ☎582-2632 FAX 582-2685  
 聴覚障害のある方が本会議の傍聴を希望される場合には、要約筆記記者や手話通訳者の派遣先を紹介しています。事前にお問い合わせください。  
**【問い合わせ】**市議会事務局総務課 ☎582-2621 FAX 582-2685

### 政務活動費の「収支報告書」を公開します

政務活動費の令和4年度分の「収支報告書」を市議会ホームページで公開します。また、領収書などの写しは、市議会事務局で閲覧できます。  
 ※閲覧開始日時  
 令和5年6月29日(木)午前8時30分から  
**【問い合わせ】**  
 市議会事務局総務課(小倉北区城内1-1、市庁舎横) ☎582-2622 FAX 582-2685

### 「資産などに関する報告書」が閲覧できます

令和5年度に議員から提出された①資産等補充報告書 ②所得等報告書 ③関連会社等報告書は、市議会事務局で閲覧できます。  
 ※閲覧開始日時  
 令和5年7月3日(月)午前9時から  
**【問い合わせ】**  
 市議会事務局総務課(小倉北区城内1-1、市庁舎横) ☎582-2621 FAX 582-2685